

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	江戸川大学
設置者名	学校法人 江戸川学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
社会学部	人間心理	夜・通信	0	0	14	14	13		
	現代社会	夜・通信			14	14	13		
	経営社会	夜・通信			14	14	13		
メディアコミュニケーション学部	マス・コミュニケーション	夜・通信		0	0	14	14	13	
	情報文化	夜・通信				14	14	13	
	こどもコミュニケーション	夜・通信				14	14	13	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://sites.google.com/edogawa-u.ac.jp/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	江戸川大学
設置者名	学校法人 江戸川学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/shigaku.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	慶應義塾大学法科大学 院法務研究科教授	令和5年4 月1日より 令和7年3 月31日	組織運営体制のチ ェック機能
非常勤	弁護士、中央大学法科大 学院兼任講師、専修大学 法科大学院客員教授他	令和5年5 月28日よ り令和7年 3月31日	組織運営体制のチ ェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	江戸川大学
設置者名	学校法人 江戸川学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全ての授業科目について、「副題」「授業の概要」「到達目標」「準備学習(予習・復習)の内容」「スケジュール」「成績評価の基準」「テキスト」等を記載したシラバスを作成し、Web上にて公表している。</p>	
<p>○Webシラバス作成から公表までの流れ</p> <p>a) 事前説明～シラバス作成(毎年2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバス作成上の注意点や各項目の内容と具体例等を記載したマニュアルを配布する。 FDを通じ、シラバス作成の要点・変更箇所、書き方の注意等について、具体例を示し解説する。 <p>b) 内容確認・修正～公開(毎年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全てのシラバスの内容を教務委員が確認する。確認時の指摘事項は、必要に応じて担当教員にフィードバックし、シラバスを修正・改良する。 	<pre> graph TD A[事前説明] --> B[Webシラバス作成] B --> C[内容確認・修正] C --> D[公開] </pre> <p>図:シラバス作成の流れ</p>
<p>Web上でシラバスを公開し、閲覧可能な状態とする。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://sites.google.com/edogawa-u.ac.jp/syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【シラバスへの記載】</p> <p>シラバスの「成績評価方法・基準」項目において、その科目の到達目標に対する達成度を測る具体的な評価基準を明確に(試験の場合については〇〇について「十分な知識を持つ」や、レポートについては「〇〇について考察ができる」など)記載している。</p> <p>【成績評価の注意喚起】</p> <p>成績報告を依頼する際の文書に、学修成果の厳格かつ適正な評価を行うための付与基準について記載し、全教員に対して注意喚起を行っている。</p> <p>【学生からの成績問い合わせ】</p> <p>学生は、成績の通知を受けた後、評価に疑問を持った場合には、成績調査願を提出し、成績評価の理由について確認することができる。成績調査願を受けた教員は、依頼のあった学生の当該科目についての成績を確認し、成績評価の理由とともに調査結果を回答する。これにより「学修成果の厳格かつ適正な評価」が適切に実施されていることを示すようにしている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【客観的指標の設定】

- 本学では各学生の成績に関する客観的指標として GPA 制度を導入し、学生の学修状況の把握に利用している。GP 配点および GPA の算出式は下記の通りである。
- 本制度に係る成績評価の指標として GPA を算出する際には、(自由科目も含めて) 全ての科目の成績を算出の対象とする。なお、正規の手続きを経て履修放棄された科目に関しては算出対象としない。

GPA 算出式

$$\frac{(\text{評価を受けた科目の GP}) \times (\text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{履修して評価を受けた全科目の単位数の合計}}$$

GP 配点

- 秀 (100 - 90) : 4 点
- 優 (89 - 80) : 3 点
- 良 (79 - 70) : 2 点
- 可 (69 - 60) : 1 点
- 不可 (59 - 0) : 0 点

- GPA 算出に用いられる各科目の成績に関しては、受講者数に対する「秀」および「不可」の割合に基準を設け、科目間での成績評価における著しい偏りを防止している(ただし、能力別クラス編成をしている科目等、一部の科目を除く)。

【公表】

- 上記の GPA の算出方法に関しては、大学の Web ページおよび科目履修マニュアル上に公開している。
- 学生には、自らの学修状況を客観的に判断することができるよう、2019 年度より該当学生の所属する学部における平均 GPA とともに、学生本人の GPA を個別にフィードバックすることとしている。

【分布状況の把握と活用】

- 教務委員会が全ての科目別成績分布データを把握・分析し、適切な成績評価が行われているかの確認、および、それに向けての全学的な意識向上に努めている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.edogawa-u.ac.jp/zaigakusei/jugyo_risyu/risyu_seiseki/index3.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【策定・公表】

- 本学に 4 年以上在学し、各学科におけるカリキュラムに定められた(卒業研究も含む)卒業に必要な単位を修得した者について、教務委員会における卒業判定会議および教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。
- 学部および学科ごとにディプロマ・ポリシーを策定し、その内容を学内外に向けて大学 Web ページで公表するとともに、特に学生には学生便覧を直接配布する形でも公表している。

【適切な実施に係る取組】

- 3 年次の専門ゼミナールおよび 4 年次の卒業研究を全学的に必修とし、全学生に対して少人数教育により各学科における専門的知識・技術の提供を行う体制を整えている。
- ディプロマ・ポリシーに掲げる要素を満たすかどうかの視点から卒業研究の評価を行う仕組みを導入し、単位修得状況だけでなく、大学での学修の集大成と位置付ける卒業研究の内容からも各学生がディプロマ・ポリシーの要素を満たすか否かを判断することとしている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouiku_joho/diplomapolicy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	江戸川大学
設置者名	学校法人 江戸川学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.edogawa-u.ac.jp/img/media/27722.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.edogawa-u.ac.jp/img/media/27728.pdf
財産目録	https://www.edogawa-u.ac.jp/img/media/27721.pdf
事業報告書	https://www.edogawa-u.ac.jp/img/media/27734.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.edogawa-u.ac.jp/img/media/27733.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/selfcheck.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/externalcheck.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 社会学部 メディアコミュニケーション学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujoho/index.html ）
（概要）「大学の教育研究上の目的に関すること」の項目上に、「学部・学科の教育研究上の目的」に記載している。まず、学部学科ごとに区分を行い、次にそれぞれの区分ごとに、「人材の養成に関する目的」、「学生に修得させるべき能力等の教育目標」について定め、これにより教育研究上の目的を網羅的に記載している。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujoho/index.html ）
（概要）「学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること」の項目上に、「学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）」として記載し、必要な力を明示している。まず学部ごとに 7 項目能力をそれぞれ示し、次に学科ごとに 2～3 項目の能力を示している。 なお、詳細については、様式第 2 号の 3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】に記載。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujoho/index.html ）
（概要）「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に記載を行っている。まず、全学的な教育の編成方針と学部別の方針として、教養教育・専門教育・参加型少人数授業・卒業研究に分けて記載している。その後学科別にそれぞれの学科のポリシーを共通科目(1 群)、学科科目(2 群)、学科独自科目(3 群)として、3～4 項目に分けて記載し、それぞれ教育課程の編成及び実施の方針として示している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujoho/index.html ）
（概要）「入学者に関する受入方針（アドミッション・ポリシー）」に記載を行っている。まず大学全学の教育理念としての「人間陶冶」と、育てるべき人材像を示し、そのために求めている学生の能力・資質・意欲について 5 項目示している。また、入試区分ごと、学科ごとに明示することで、入試区分や学部学科ごとの入学者受入の方針を明確化している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.edogawa-u.ac.jp/about/guidance/sosikizu.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
社会	—	21人	7人	6人	0人	0人	34人
メディアコミュニケーション	—	26人	4人	6人	2人	0人	38人
基礎・教養教育センター	—	1人	1人	2人	0人	0人	4人
国際交流センター	—	0人	0人	2人	0人	0人	2人
心理相談センター	—	0人	0人	0人	1人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		130人					130人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://gyoseki.edogawa-u.ac.jp/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
学内で限定サイトにて公開							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会学部	320人	350人	109.4%	1280人	1448人	113.1%	人	1人
メディアコミュニケーション学部	230人	266人	115.7%	920人	1064人	115.7%	人	1人
合計	550人	616人	112%	2200人	2512人	114.2%	人	2人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
社会学部	332人 (100%)	2人 (0.6%)	300人 (90.4%)	30人 (9%)
メディアコミュニケーション学部	259人 (100%)	0人 (0%)	238人 (91.9%)	21人 (8.1%)
合計	591人 (100%)	2人 (0.3%)	538人 (91%)	51人 (8.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujoho/ にて、Web シラバス、履修モデルを公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujoho/ にて、成績評価基準及びGPA制度、取得可能学位、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、卒業・進級要件について公表している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
社会	人間心理学科	128 単位	有・無	単位
	現代社会学科	128 単位	有・無	単位
	経営社会学科	128 単位	有・無	単位
メディアコミュニケーション	マス・コミュニケーション	128 単位	有・無	単位
	情報文化学科	128 単位	有・無	単位
	こどもコミュニケーション学科	128 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujoho/ にて、校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関することを公表している。

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
社会	人間心理	700,000 円	320,000 円	400,000 円	(その他内訳) 施設設備費 200,000 円 維持費 100,000 円 実験実習費 100,000 円
	現代社会				
	経営社会				
メディアコミュニケーション	マス・コミュニケーション				
	情報文化				
	こどもコミュニケーション				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 昼休みから 5 限までアクティブ・ラーニング・スタジオにて担当教員が常駐しており、学生は英会話や情報処理スキルのレベル別に実践的なレッスンを受けることができる。学生の学習についてわからないところの復習や資格取得に向けた学習についても教員と学生補助員が多方面からサポートしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成するキャリア教育を実施。また、キャリアセンターを中心に、インターンシップや就職活動をする学生に対してきめ細かな支援を行っている。その他、資格取得についても、正規の課程内外、教職課程センター、キャリアセンター等で支援しており、学費の減免や報奨金が受けられる支援制度も設け奨励している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室を設置し、カウンセラー(月～金 9：30～16：30)が常駐し、学生からの相談に対応している。また、学生部による「あんしん生活サポート窓口」や学務部による「何でも相談窓口」にて学生からの各種相談について受付している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： (教育活動) https://www.edogawa-u.ac.jp/about/public_info/kyouikujohe/ (研究活動) https://www.edogawa-u.ac.jp/facility/research/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。